

認定第1号

平成25年度社会福祉法人八千代町社会福祉協議会事業報告について

事業計画に基づき、役職員をはじめ、行政、各関係機関団体等との連携を図り、地域住民の協力のもと、地域福祉推進のため次のとおり事業を実施した。

1 事業概要

(1) 低所得世帯対策

民生委員の協力のもと、生活福祉資金及び小口貸付資金の活用により、低所得世帯の更生助長に努めた。

①生活福祉資金貸付事業 利用者 2名 (総額 1,340,000円)

②小口貸付資金貸付事業 利用者 5名 (総額 103,000円)

(2) 高齢者福祉対策

①老人クラブ連合会の育成援助

各地区ごとに「老人福祉週間」に併せ、各小学校体育館及び娯楽施設において芸能のつどいを開催し、高齢者の社会参加を促進した。

参加者 429名

②寝たきり高齢者等への理髪料助成

民生委員の協力のもと、要介護3以上の要介護者に対し、理髪料の助成を行い介護者の労力の軽減を図ると共に、要介護者の衛生管理に努めた。

利用者延人数 111名

③敬老祝い品の贈呈

町内の88歳到達者及び100歳以上の高齢者へ祝金を贈り、高齢者福祉の充実に努めた。

88歳到達者 135名

100歳以上 12名

④ひとり暮らし高齢者買い物ツアー

ひとり暮らし高齢者の外出の機会や社会参加を目的として、製菓工場の見学や直売所等で買い物をし、高齢者福祉の充実に努めた。

参加者79名(既27名含む)

⑤高齢者世帯おせち料理配付事業

町内の70歳以上のひとり暮らし高齢者及び70歳以上の高齢者のみの世帯へ民生委員の協力を得て、おせち料理を配付し、高齢者福祉の充実に努めた。

ひとり暮らし高齢者 190名

高齢者のみの世帯 125世帯

(3) 障がい者福祉対策

①身体障害者福祉協会への育成援助

町身体障害者福祉協会への活動支援をし、障がい者福祉の向上に努めた。

また、茨城県身障者スポーツ大会への参加、町身障者スポーツ大会への積極的参加を呼びかけ、健康な体力の増強と協調精神を養い、生活意欲の向上が図れるよう努めた。

会 員 数 62名

県スポーツ大会参加者 22名

町スポーツ大会参加者 46名

②視覚障がい者への「声の広報やちよ」のサービス

ボランティアサークルの協力のもと、町内の視覚障がい者に「声の広報やちよ」を毎月届け、障がい者福祉の向上に努めた。

利 用 者 6名

③親子すこやか交流事業

外出機会の少ない町内の障がい児を対象に、ボランティアの協力を得ながら、親子で社会参加できる機会を提供し、障がい者福祉の向上に努めた。

参 加 者 35名

(4) 児童福祉対策

①保育園・幼稚園への支援

運動会開催時助成をし、児童福祉の向上に努めた。

保育園・幼稚園 9園

②子育て支援

子育て支援事業を推進している団体へ助成をし、児童福祉の向上に努めた。

対象団体 1団体

③サンタクロース派遣事業

保育園・幼稚園のクリスマス会などの行事にサンタクロースを派遣して、子どもたちへプレゼントを届けた。

4園 655名

(5) 母子福祉対策

①母子寡婦福祉会への育成援助

町母子寡婦福祉会への活動支援をし、母子福祉の向上に努めた。

会 員 数 40名

②入学祝品配付事業

母子、父子家庭の新入学児童へ祝い金を贈り、母子、父子家庭の援護に努めた。

配付世帯数 3世帯

(6) ボランティア活動の推進

①ボランティアの育成援助

ボランティアの相談、斡旋、登録等、ボランティア活動の向上に努めた。

②福祉教育への参加、協力

町内の小学校からのボランティア体験学習（車いす・アイマスク・シニア体験）の依頼を受け、個人ボランティアの協力を得て、ボランティア活動への理解と関心を高め、福祉の増進に努めた。

③ふれあいいいききサロンの設置

町内4ヶ所（東大山・道前六保・平塚西部・露田）の行政区を「ふれあいいいききサロン」の地区に指定し、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で生活できるようコミュニティづくりの推進に努めた。

④ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業（月2回実施）

ボランティアの協力により、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、1ヶ月に2回友愛訪問と併せ、手作りの弁当を配付し、高齢者福祉の向上に努めた。

20回実施（月平均利用者数 94名）

⑤福祉教育推進学区指定事業

平成25年度から2年間、安静小学区を指定し、子どもの時から社会福祉への理解と関心が高まり、意識づけすることができた。また地域での協働活動により、地域の方や高齢者との交流を深められ、思いやりの心を育むことができた。

⑥ご近所声かけ隊事業

隊員として登録しているボランティアが、ひとり暮らし高齢者や小学校の下校時の児童に声かけをすることで、地域の安全確認に協力し、福祉コミュニティづくりの推進を図った。

隊員登録数 34名

⑦ボランティア養成講座の開催

傾聴養成講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

講座受講者 18名

⑧ボランティア連絡協議会の育成援助

ボランティアサークル及び個人ボランティア相互のつながりを持ち、情報の共有や協働による活動展開ができるよう支援した。

サークル登録数 6サークル 140名

個人ボランティア登録数 26名

(7) 在宅福祉サービスセンター（有償ボランティアサービス）

高齢者のいる家庭、子育てなど在宅で福祉的援助を必要とする方が地域で安心

して生活できるようサービス提供し、在宅福祉サービスの向上に努めた。

協力会員 18名

利用会員 22名

- ①子育てサポート 利用延べ時間 89時間
- ②高齢者、障がい者等の支援 利用延べ時間 2,169時間

(8) 相談事業

①心配ごと相談事業

人権擁護員、行政相談員の協力を得て、毎月第2・4火曜日に相談所を開設し、住民の心配ごとに適切な指導援助が行えるよう努めた。 相談件数 12件

②日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的、精神障害者等で判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用手続きや日常生活上での金銭管理を援助し、地域福祉の向上に努めた。

利用者 6名

(9) 受託事業

①軽度生活援助事業

介護保険制度の対象外になる高齢者等に対して、要介護状態にならないよう自立した生活を支え、在宅福祉サービスの充実に努めた。

利用延時間数 29時間

②手話奉仕員養成研修事業（スキルアップ手話講座）

日常生活などの手話の基本表現を習得し、手話通訳を行う者の養成に努めた。

手話講座受講者 13名

〃 開催数 15回

(10) 介護保険事業

①指定居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

要支援・要介護者に対し、在宅で日常生活ができるよう保健、医療、福祉関係機関また施設事業者と連携し、総合的かつ効果的な介護サービス計画の提供に努めた。

月平均利用者数 84名

②指定居宅訪問介護事業（ホームヘルプ）

要支援・要介護者等の心身の状況を踏まえて、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう身体介護、その他生活全般にわたる援助を行い、総合的なサービスの提供に努めた。

月平均利用者数 31名

(11) 障がい者自立支援法事業

①障がい者居宅介護

障害者が、可能な限り在宅において有する能力に応じ、自立した日常生活を営

むための支援として、生活援助及び身体介護の援助を行い、在宅福祉の向上に努めた。
利 用 者 2名

(12) その他

①福祉機器貸出事業

福祉機器等を貸出することにより、地域福祉及び在宅福祉、ボランティア活動の向上を図った。

福祉車両貸出件数 95件

車いす貸出件数 52件

②遺族会への支援

町遺族会への健全な育成の活動と支援をした。

会 員 数 534名

③ホームページの開設

ホームページを開設し、地域の福祉に関する情報を随時発信し、福祉の向上に努めた。

④広報紙の発行

ボランティア広場 年12回、社協だより 年1回

平成26年 5月30日 提出

平成26年 5月 日 承認

社会福祉法人

八千代町社会福祉協議会

会 長 大 久 保 司